

《北九州市文化振興基金奨励事業》

没後70年記念事業

リーフレット「杉田久女 その生涯と作品」の刊行

久女・多佳子の会では、このたび杉田久女没後70年を記念して、リーフレット「杉田久女ひさ その生涯と作品」を発行する運びとなりました。

俳人杉田久女の業績を、その作品鑑賞を通して迎えるものです。

下記により発行・配布（無料）いたしますので、告知につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

- 1 配布日 : 平成28年7月8日（金）（市立文学館にて配布開始）
- 2 発行部数 : 2万部
- 3 配布先 : 久女・多佳子の会が主催する「久女忌」（毎年1月21日、小倉北区の圓通寺）で開催）や共催する「櫓山荘子ども俳句大会表彰式」（毎年10月下旬、小倉北区の櫓山荘公園で開催）の参加者に配布するほか、「全国女性俳句大会 in 北九州」（毎年3月上旬、北九州国際会議場で開催）の参加者等に配布する。
併せて、北九州市立文学館（小倉北区内 4-1）を訪れた来館者が持ち帰ることができるよう、受付に備え置く。（無料配布）

◆ ひさしよ たかこ 久女・多佳子の会

平成8年に発足し、平成9年1月から久女忌を毎年開催。その後、櫓山荘跡（現『櫓山荘公園』）に文学碑建設（平成15年秋）の発起団体として関わる。平成17年10月から櫓山荘子ども俳句大会を毎年開催。同大会実行委員会の構成団体として、実施運営の中心的な役割を担っている。現在、市職員OBを中心に会員23名。

会の名称は、小倉にゆかりの深い俳人杉田久女、橋本多佳子にちなむ。「杉田久女を語るホームページ」（<http://www.hisajo.jp/>）を運営。

◆ すぎ たひさしよ 杉田久女（1890年5月～1946年1月）

女子高等師範学校（現・お茶の水女子大学）附属高等女学校を卒業したのち、小倉中学校（現・小倉高校）図画教諭うないに赴任していた杉田宇内と19歳で結婚、夫の任地小倉に移り住み、生涯を小倉で過ごした。大正6年、「ホトトギス」への初出句をきっかけに、近代女性俳句の草分け的存在として活躍。その句は高濱たかはまきよし虚子から「清艶高華」と評された。

お問い合わせ

（久女・多佳子の会）

久末隆彦 電話090-4983-9801

中嶋重利 電話090-5746-1988